<mark>マイコプラズマ:</mark> は極めて小型の、細胞壁のない、柔らかく桿球菌の区別のない細菌。 細胞壁を欠くのでβ**ラクタム環抗生剤無効。** マクロライド、ニューキノロン有効。

大型ウイルスより小さい 0.2µm(ゲノムも小型)。 TCA 回路、脂質合成、アミノ酸合成を欠く。 真核細胞に付着寄生する(細胞内寄生もある)、培養は細胞無しで可能な(解糖系を持つ)ものもある。 野生型でも 15%は耐性菌。診断は PCR や LAMP 法(栄研)。 迅速はリボテスト、プライムチェック(マイコ)など(保険適応)。 コロニーは



目玉焼き状。 肺炎マイコプラズマは①マイコプラズマ肺炎の原因菌 **5 類定点**。 <mark>アプラズマ:</mark> (ブラックの本では独立種、ステロール要求性と細胞壁の有無で区別する。 ミムスの本ではマイコプラズマに分類) ①尿道炎を起こす(下町の病院勤務時に経験、 強い膀胱刺激症状がクラミジア感染と似る)。 ②流産の原因となる。 クラミジア(ク <mark>ラミドフィラ): ①トラホームや性器感染</mark>を起こす Chlamydia trachomatis を除き 1999 に Chlamydophila psittaci(②<mark>オウム病</mark>を起こす(psittacism は「オウム返し」)をタ イプ種とする近縁のクラミドフィラ Chlamydophila に移された。 一般にはこれらもク ラミジアと呼ぶ。 培養不可、動物細胞内で増殖(**偏性細胞内寄生性**)。 クラミジアは 細胞の食作用によって取り込まれ、感染性をもつが増殖能力がない**基本小体(EB)**と、感 染性はないが増殖能力をもつ網様体(RB)と形態を変える。 宿主細胞内で封入体を形成。 Chlamydophila pneumoniae はヒトに③クラミジア肺炎を起こす。5 類定点、 但しオ ウム病は4類 <mark>リケッチア:</mark> これを研究し<mark>発疹チフス</mark> (4 類) に倒れた Howard Taylor Ricketts の名に因む。①発疹チフスは Rickettsia prowazekii 感染、②ツツガムシ病(4 類)は Rickettsia tsutsugamushi(Orientia tsutsugamushi)感染。③<mark>日本紅斑熱(4 類)</mark> は馬原文彦医師が発見した(1984)、マダニが媒介する Rickettsia japonica 感染。 (やは りマダニが媒介するブニヤウイルス感染症の**重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)(4類)** は全く別の疾患(症状は似るのもある)。

<<マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア (クラミドフィラ) のまとめ>>

	真 正 細 菌				ウイルス
	細菌	マイコプラズマ	リケッチア	クラミジア	(ファージ)
大きさ	大	小	中	小	小
細胞壁	<mark>ある</mark>	<mark>ない</mark> (外膜なし)	<mark>ある</mark> (外膜あり)		細胞ではない
構成単位	細胞				<mark>ウイルス粒子</mark>
遺伝情報の担体	DNA				DNA or RNA
エネルギー産生系	有り			4	無し

マイコプラズマ(外膜無し、グラム陽性)、クラミジア、リケッチア(外膜あり、グラム陰性)などは<mark>グラム染色性を議論しない</mark>(定義と染色性の相反がある)。 古典的な**青く染まる<u>グラム陽性菌</u>はムレイン**の厚い層をもつ<u>細胞膜</u>があり、脱色後赤く染まる<u>グラム陰性菌</u>は細胞膜の上(外側)にペリプラズム間隙とエンドトキシン(**リポ多糖体**, LPS)を含む**外膜**を持つ。

マイコプラズマ(外膜無し、グラム陽性)、クラミジア、リケッチア(外膜あり、グラム陰性)などは<mark>グラム染色性を議論しない</mark>(定義と染色性の相反がある)。 古典的な**青く染まる<u>グラム陽性菌</u>はムレイン**の厚い層をもつ<u>細胞膜</u>があり、脱色後赤く染まる<u>グラム陰性菌</u>は細胞膜の上(外側)にペリプラズム間隙とエンドトキシン(**リポ多糖体,LPS**)を含む<u>外膜</u>を持つ。